

(小規模企業景気動向調査)

# 三重の景況

No.72

(平成30年1月～6月期)

三重県商工会議所連合会  
桑名商工会議所  
四日市商工会議所  
鈴鹿商工会議所  
亀山商工会議所  
津商工会議所  
松阪商工会議所  
伊勢商工会議所  
鳥羽商工会議所  
上野商工会議所  
名張商工会議所  
尾鷲商工会議所  
熊野商工会議所

## はじめに（総括）

三重県商工会議所連合会では、県内 12 商工会議所合同で、地区の小規模企業を対象とした景況調査を年 2 回実施しています。このたび平成 30 年上期の調査結果がまとまりましたのでご報告します。

三重県内の景況を示す指標である「現状」の D I 値は、▲20.2 と平成 29 年下期に比べ 7.5 ポイント悪化しました。

業種別の「現状」D I 値は、製造業▲18.2（前期▲8.7）、建設業▲6.3（前期 2.6）、卸売業▲35.9（前期▲19.8）、小売業▲43.6（前期▲40.4）、飲食業▲36.5（前期▲32.6）、サービス業▲15.5（前期▲10.0）、交通運輸業▲22.7（前期▲3.7）、その他の業種 0.0（前期 10.5）と、すべての業種で悪化しています。

地区別の「現状」D I 値は、北勢地区▲17.8（前期▲10.5）、中勢地区▲28.0（前期▲12.8）、南勢地区▲17.3（前期▲10.2）、伊賀地区▲4.7（前期▲13.2）、東紀州地区▲39.0（前期▲34.3）となり、伊賀地区を除くすべての地区で悪化となりました。

また、「今後の見通し」の D I 値は▲21.2 となり、現状の D I 値と比較すると 1.0 ポイントの悪化になると見通しています。業種別では、卸売業・小売業・飲食業・サービス業において現状の D I 値より改善、製造業でほぼ横ばい、建設業・交通運輸業・その他の業種において悪化の見通しとなり、地区別では、中勢地区・南勢地区・東紀州地区で現状の D I 値より改善、北勢地区・伊賀地区で悪化の見通しとなりました。

「売上状況」「利益状況」「販売条件」「仕入条件」の項目では、全体としてはいずれの D I 値も前期より悪化の傾向となりました。地区別の「売上状況」は伊賀地区・東紀州地区で改善、「利益状況」は南勢地区で横ばい、東紀州地区で改善、「販売条件」は南勢地区・伊賀地区・東紀州地区で改善、「仕入条件」は中勢地区・南勢地区で改善の傾向となりました。

景気の方角性を示す「設備投資」の項目は、「行った」とした割合が全体で 15.9%（前期 19.1%）と 3.2%減少、「予定している」とした割合は、全体で 13.8%（前期 15.6%）と 1.8%減少しました。業種別の実績では、交通運輸業が 29.5%で割合が最も高く、地区別の実績では北勢地区が 16.9%、設備投資の予定では中勢地区が 15.0%で最も高くなっています。

「借入の状況（難易度）」の D I 値は、全体で 7.0（前期 7.0）と横ばいとなったほか、「借入を予定している」と回答した企業の割合は 14.4%（前期 15.0%）、「使途予定」については『運転資金』の割合は 63.7%（前期 62.0%）、『設備資金』の割合は 31.4%（前期 35.6%）となりました。

以上が本調査結果の概要です。本調査報告書が皆様の今後の企業経営の参考や小規模企業に対する皆様の更なる理解に資することになれば幸いに存じます。

最後に本調査の実施、作成にあたりましては、調査対象企業をはじめ関係各位の皆様にご協力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 8 月

三重県商工会議所連合会

# も く じ

## ( 調 査 内 容 )

・ 調査要領	1
1. 現状と今後の見通し	4
現況D I 値の推移	6
2. 売上状況	8
3. 今後の売上見通し	8
4. 利益状況	9
5. 販売条件	9
6. 仕入条件	10
7. 設備投資	10
8. 資金繰り状況と今後の見通し	11
9. 借入状況	12
借入難易度D I 値の推移	13
10. 借入予定	14
11. 借入希望先	14
12. 借入金の使途予定	15
13. 経営上の問題点	15
・ 県内商工会議所地区の景況	17
・ 景況調査票	

# 「三重の景況」調査要領

## 1. 調査目的

当調査は、三重県商工会議所連合会と県内 12 商工会議所〔\*1〕が、小規模企業〔\*2〕の動向を合同で調査することにより、県内小規模企業の景況把握を、地区別〔\*3〕に行い、合わせて各会議所地区の景況を調査することにより、各商工会議所の事業活動の参考とすることを目的とする。

### 〔\*1〕 県内商工会議所

桑 名商工会議所	中小企業相談所
四日市商工会議所	中小企業相談所
鈴 鹿商工会議所	中小企業相談所
亀 山商工会議所	中小企業相談所
津 商工会議所	中小企業相談所
松 阪商工会議所	中小企業相談所
伊 勢商工会議所	中小企業相談所
鳥 羽商工会議所	中小企業相談所
上 野商工会議所	中小企業相談所
名 張商工会議所	中小企業相談所
尾 鷲商工会議所	中小企業相談所
熊 野商工会議所	中小企業相談所

### 〔\*2〕 小規模企業（中小企業基本法による）

卸売・小売・サービス業は従業員 5 人以下、製造・建設・その他の業種については 20 人以下。（会社の役員・家族従業員・パートを除く）

### 〔\*3〕 県内各地区は下記のとおり

北勢地区……桑名・四日市・鈴鹿・亀山  
中勢地区……津・松阪  
南勢地区……伊勢・鳥羽  
伊賀地区……上野・名張  
東紀州地区…尾鷲・熊野

## 2. 調査対象・回答状況

県内 12 商工会議所の会員企業中、任意抽出した小規模企業 9,561 事業所を対象とした。回答状況は、回答率 26.8%、回答企業 2,559 事業所であった。

## 3. 調査方法

F A X または郵送方法によるアンケート方式

## 4. 調査期間

平成 30 年 7 月 1 日～7 月 13 日

※ 当調査は、“1 月～6 月期”と“7 月～12 月期”の年 2 回、調査を実施している。

## 5. 集計方法

外部委託を行い、一括コンピュータ集計を行った。

## 6. 調査結果の取りまとめ

調査結果の取りまとめについては、津・松阪・上野・名張の 4 商工会議所が担当した。

なお、各商工会議所地区の景況は当該商工会議所が担当した。

D I 値（ディフュージョン・インデックス）の見方について

D I とは景気動向を示す指標で、調査時点における企業家の経済行動（強気や弱気など）を知るものであり、景気動向を客観的に判断する資料として幅広く使用されているもので、特に言及のない限り、「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

### （注）図表中の数値表示について

図表中の数値については小数点以下第 2 桁で四捨五入をしているため、合計が 100.0 にならない場合がある。（マイナスは▲表示）

# 業種別・地区別回答状況

単位:企業 ( ):% 上:業種別構成率 下:地区別構成率

業種	地区	北勢				中勢			南勢			伊賀			東紀州			計		
		桑名	四日市	鈴鹿	亀山	津	松阪	伊勢	鳥羽	上野	名張	尾鷲	熊野							
製造業	食料	50	14	21	11	4	25	8	17	16	14	2	8	5	3	17	12	5	116	
	せんい	9	3	5	0	1	1	0	1	1	1	0	8	7	1	1	1	0	20	
	機械	59	24	16	16	3	14	5	9	12	6	6	8	5	3	0	0	0	93	
	金属製品	77	32	19	22	4	11	6	5	11	7	4	6	6	0	5	5	0	110	
	木材	15	6	3	1	5	19	2	17	6	5	1	2	2	0	11	10	1	53	
	化学	9	1	6	1	1	2	1	1	1	1	0	2	0	2	0	0	0	14	
	窯業	19	1	14	3	1	2	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	23	
	印刷出版	11	2	2	5	2	16	9	7	1	1	0	2	1	1	2	1	1	32	
	その他	59	15	21	15	8	14	5	9	15	14	1	5	3	2	7	6	1	100	
	計	308 (23.6) (54.9)	98	107	74	29	104 (20.5) (18.5)	37	67	63 (16.3) (11.2)	49	14	42 (22.3) (7.5)	30	12	44 (25.6) (7.8)	36	8	561 (21.9) (99.9)	
非製造業	建設業	土木工事	91	10	42	33	6	18	9	9	21	13	8	11	3	8	6	6	0	147
		建築工事	163	34	77	46	6	49	25	24	43	39	4	11	7	4	12	12	0	278
		その他	152	24	88	34	6	52	25	27	21	21	0	11	3	8	8	6	2	244
		(小計)	406	68	207	113	18	119	59	60	85	73	12	33	13	20	26	24	2	669
	卸売業	食料	21	10	7	3	1	11	4	7	11	10	1	2	0	2	6	5	1	51
		せんい	5	0	4	1	0	0	0	0	3	3	0	2	1	1	1	1	0	11
		その他	50	13	26	8	3	20	8	12	14	11	3	9	2	7	4	3	1	97
		(小計)	76	23	37	12	4	31	12	19	28	24	4	13	3	10	11	9	2	159
	小売業	せんい	26	11	11	2	2	16	4	12	18	15	3	1	1	0	6	5	1	67
		食料	29	9	14	3	3	11	3	8	16	11	5	7	3	4	7	7	0	70
		日用品	12	6	3	1	2	6	1	5	3	3	0	1	1	0	2	1	1	24
		電気製品	12	5	3	2	2	6	2	4	2	2	0	5	4	1	5	4	1	30
		その他	87	26	27	26	8	53	13	40	30	15	15	18	10	8	17	11	6	205
		(小計)	166	57	58	34	17	92	23	69	69	46	23	32	19	13	37	28	9	396
	飲食業	61	15	25	16	5	24	3	21	54	44	10	12	7	5	11	11	0	162	
	サービス業	美容・理容	35	10	12	7	6	7	1	6	16	16	0	8	4	4	7	6	1	73
		ホテル旅館	3	0	2	1	0	4	1	3	18	5	13	1	0	1	3	3	0	29
		自動車整備	40	7	17	14	2	19	4	15	9	8	1	6	1	5	4	2	2	78
		不動産	64	16	43	1	4	20	13	7	6	6	0	9	3	6	3	3	0	102
		その他	85	30	38	14	3	48	16	32	27	20	7	16	5	11	9	7	2	185
		(小計)	227	63	112	37	15	98	35	63	76	55	21	40	13	27	26	21	5	467
	交通運輸業	13	5	3	3	2	22	6	16	4	3	1	1	1	0	4	4	0	44	
	計	949 (72.7) (50.0)	231	442	215	61	386 (76.0) (20.3)	138	248	316 (81.9) (16.7)	245	71	131 (69.7) (6.9)	56	75	115 (66.9) (6.1)	97	18	1,897 (74.1) (100.1)	
	その他	48 (3.7) (47.5)	7	29	8	4	18 (3.5) (17.8)	12	6	7 (1.8) (6.9)	5	2	15 (8.0) (14.9)	0	15	13 (7.6) (12.9)	7	6	101 (3.9) (100.0)	
	合計	1,305 (100.0) (51.0)	336	578	297	94	508 (100.0) (19.9)	187	321	386 (100.0) (15.1)	299	87	188 (100.0) (7.3)	86	102	172 (100.0) (6.7)	140	32	2,559 (100.0) (100.0)	

# 1. 現状と今後の見通し

## a) 現状

全回答企業 2,559 事業所中、「良い・やや良い」が 18.4%、「悪い・やや悪い」が 38.6%で、D I 値は ▲20.2（前期▲12.7）となり、7.5 ポイント悪化した。

業種別の D I 値では、全ての業種で悪化が見られ、製造業▲18.2、建設業▲6.3、卸売業▲35.9、小売業▲43.6、飲食業▲36.5、サービス業▲15.5、交通運輸業▲22.7、その他 0.0 となった。

地区別の D I 値では、伊賀地区で改善が見られ、北勢地区▲17.8、中勢地区▲28.0、南勢地区▲17.3、伊賀地区▲4.7、東紀州地区▲39.0 であった。

図-1 現状について（業種別）

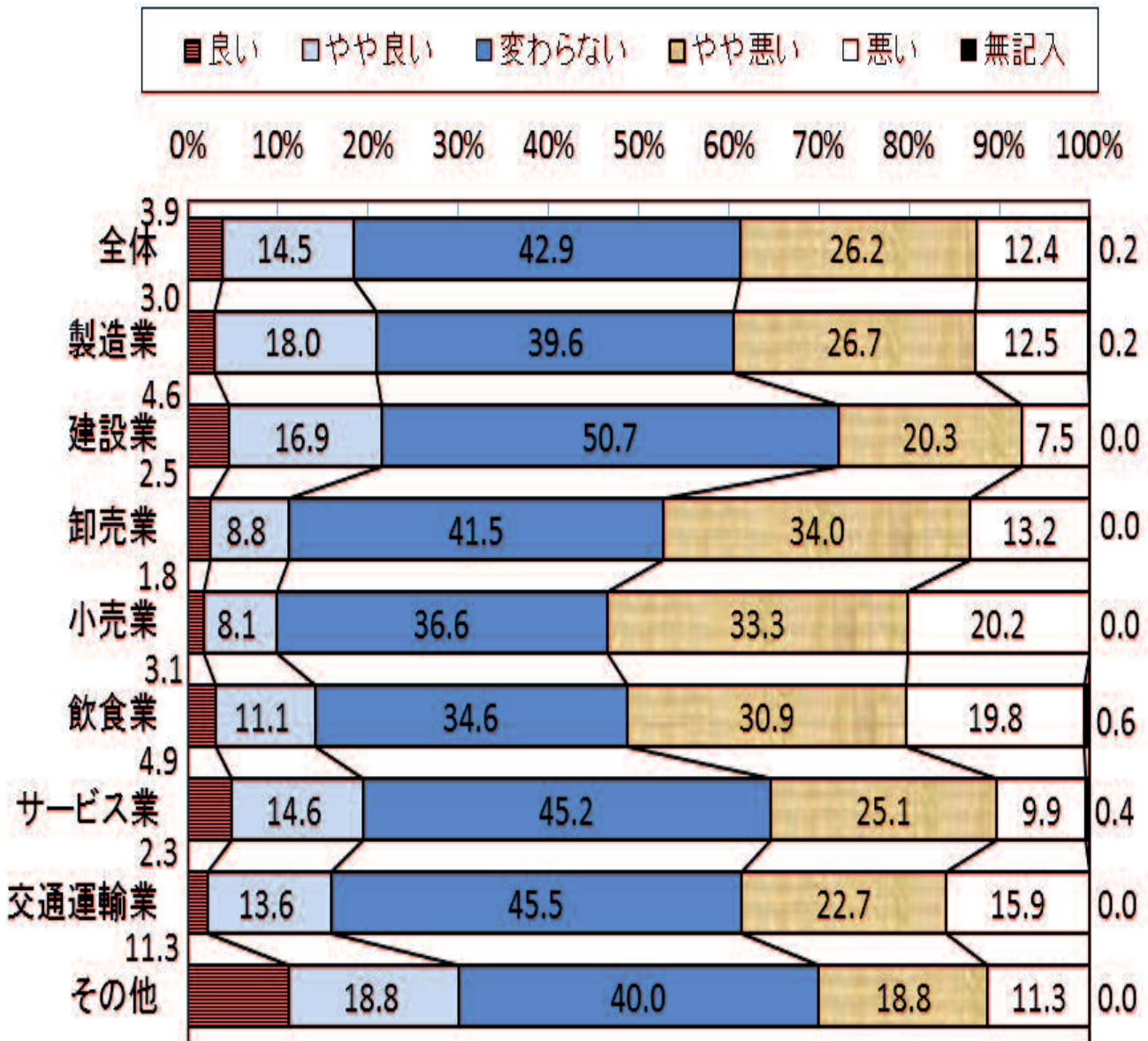
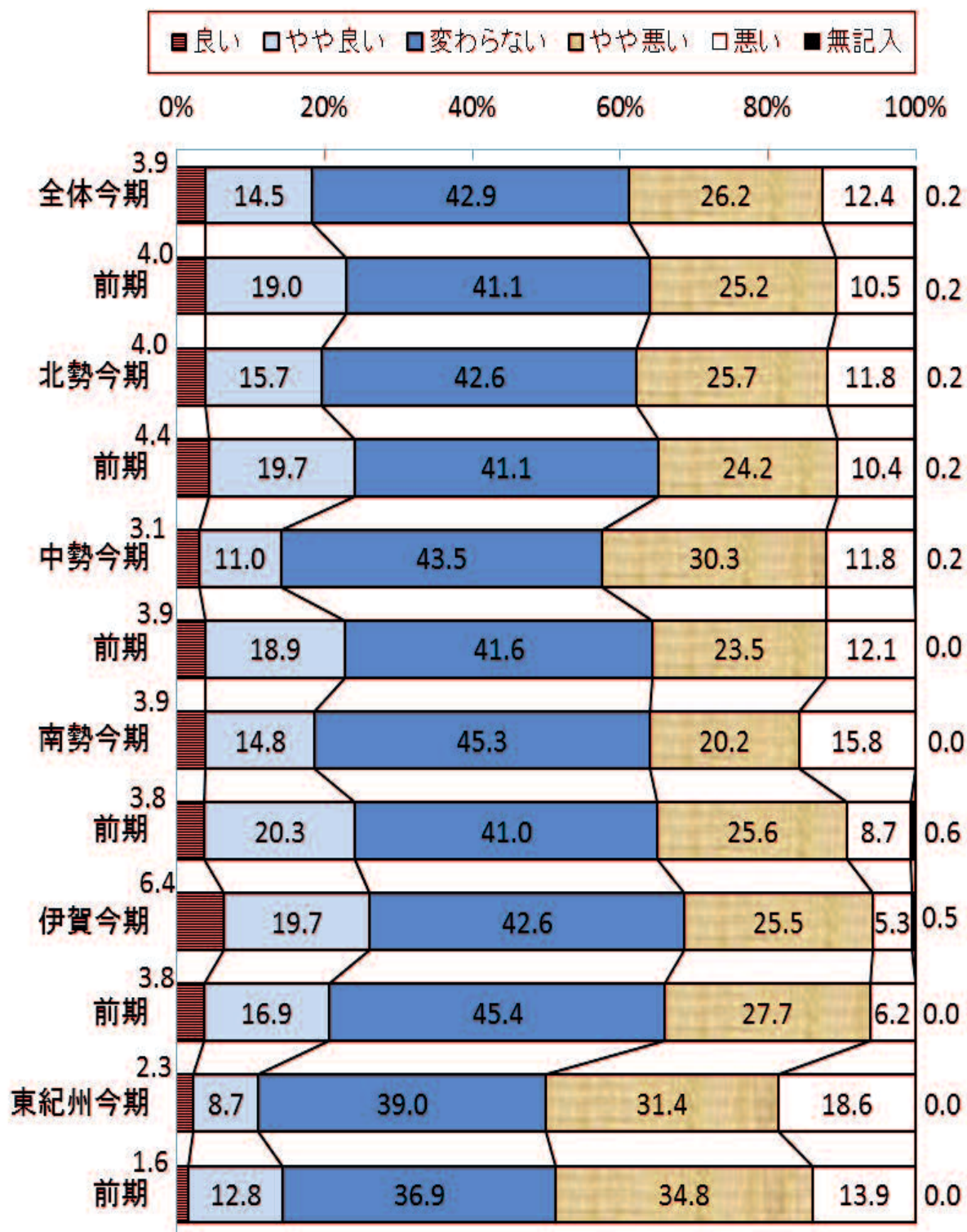
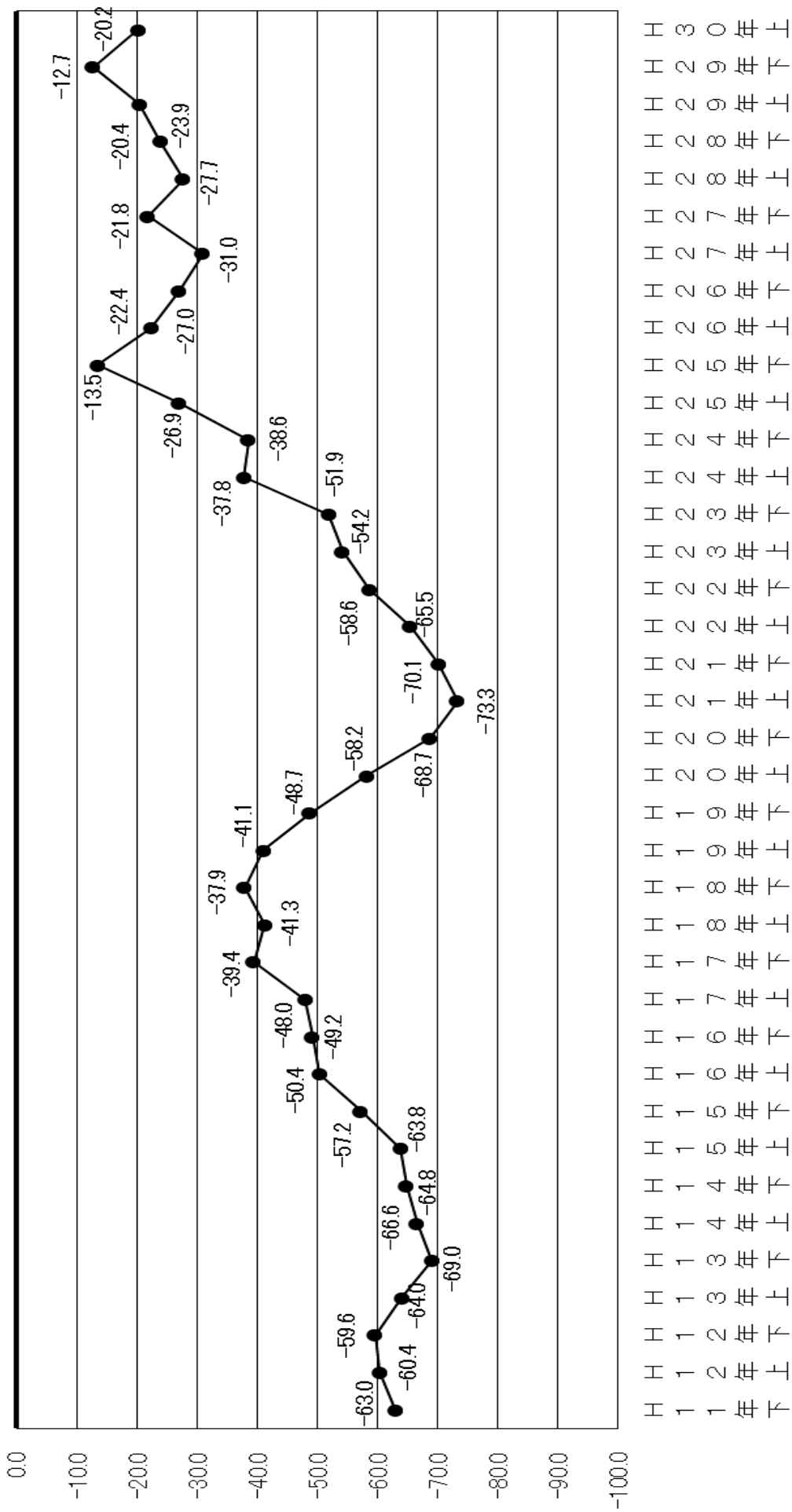


図-2 現状について（全体・地区別）





図一3 現況D I 値の推移



(注) H17 下期分までの値は BSI 値を 2 倍した数値で表示

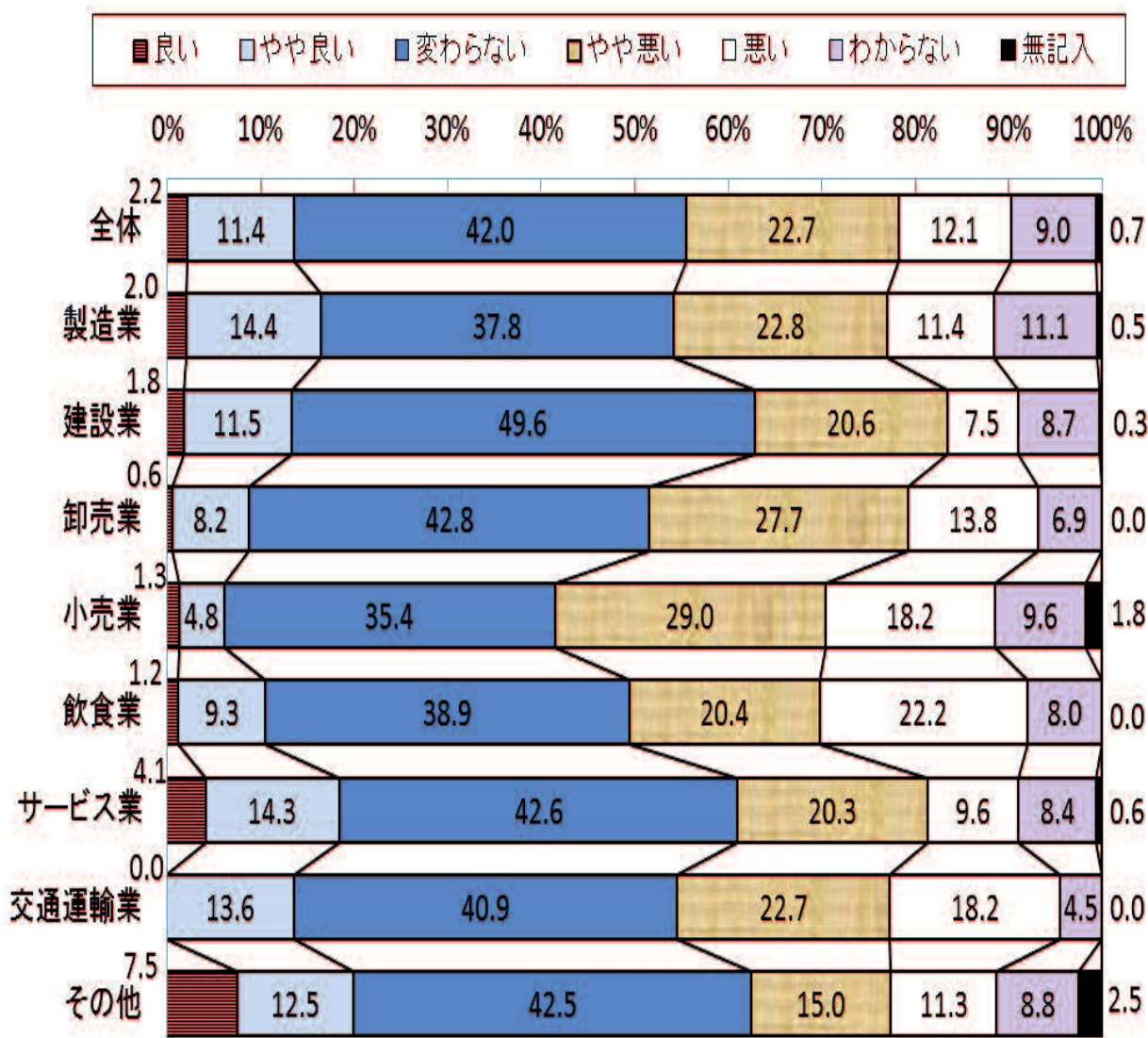
## b) 見通し

全体的見通しでは、「良い・やや良い」が13.6%、「悪い・やや悪い」は34.8%で、D I値は▲21.2（現状D I値▲20.2）となり、1.0ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I値では、建設業、交通運輸業、その他の業種で悪化の見通しとなり、製造業▲17.8、建設業▲14.8、卸売業▲32.7、小売業▲41.1、飲食業▲32.1、サービス業▲11.5、交通運輸業▲27.3、その他▲6.3となった。

地区別のD I値では、北勢地区、伊賀地区で悪化の見通しとなり、北勢地区▲22.2、中勢地区▲20.1、南勢地区▲14.5、伊賀地区▲17.6、東紀州地区▲35.5であった。

図-4 今後の見通しについて（業種別）



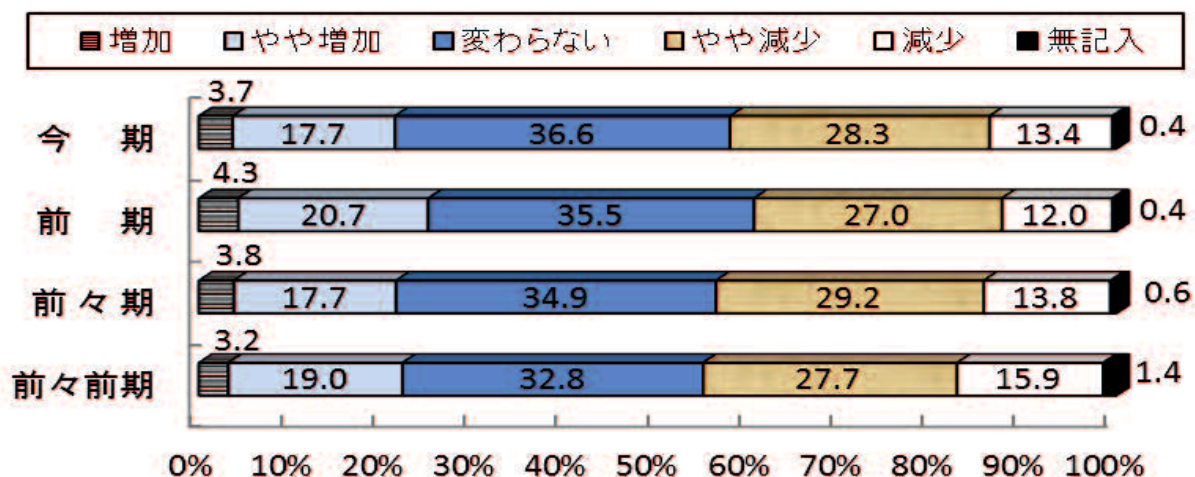
## 2. 売上状況

全体では、「増加・やや増加」が21.4%（前期25.0%）、「やや減少・減少」が41.7%（前期39.0%）で、D I値は▲20.3（前期▲14.0）となり、6.3ポイント悪化した。

業種別のD I値では、全ての業種で悪化が見られ、製造業▲19.1、建設業▲9.2、卸売業▲32.7、小売業▲40.9、飲食業▲32.1、サービス業▲17.2、交通運輸業▲9.1、その他▲2.5となった。

地区別のD I値では、伊賀地区、東紀州地区で改善が見られ、北勢地区▲19.0、中勢地区▲24.6、南勢地区▲18.1、伊賀地区▲9.5、東紀州地区▲34.3であった。

図-5 売上状況



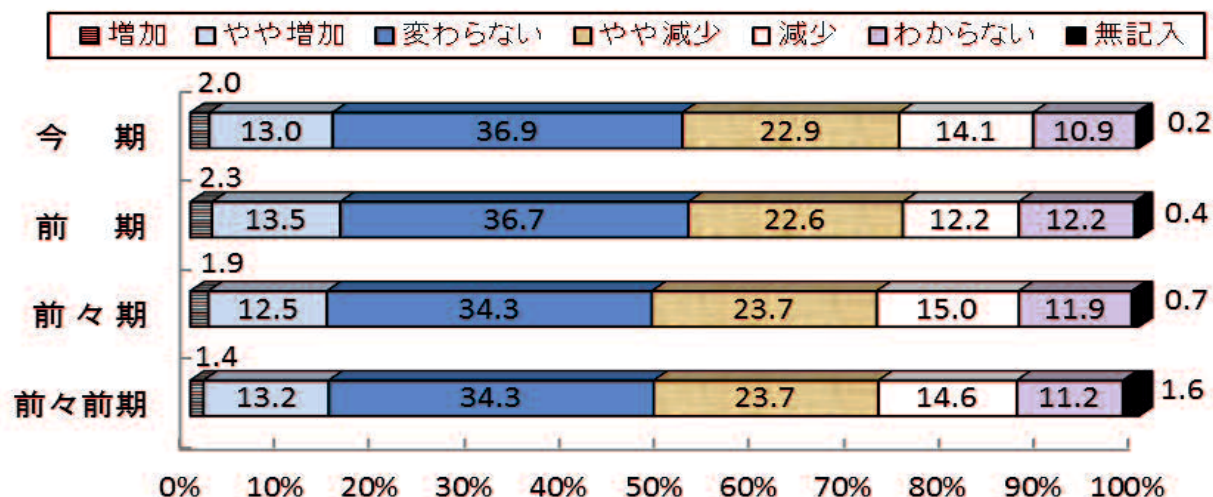
## 3. 今後の売上見通し

全体では、「増加・やや増加」が15.0%（前期15.8%）、「やや減少・減少」が37.0%（前期34.8%）で、D I値は▲22.0（現状D I値▲20.3）となり、1.7ポイント悪化の見通しとなった。

業種別のD I値では、製造業、卸売業、サービス業で改善の見通しとなり、製造業▲18.6、建設業▲17.4、卸売業▲25.2、小売業▲40.9、飲食業▲33.4、サービス業▲16.6、交通運輸業▲18.3、その他▲3.8となった。

地区別のD I値では、中勢地区、南勢地区で改善の見通しとなり、北勢地区▲22.8、中勢地区▲22.2、南勢地区▲16.4、伊賀地区▲17.0、東紀州地区▲34.3であった。

図-6 売上見通し



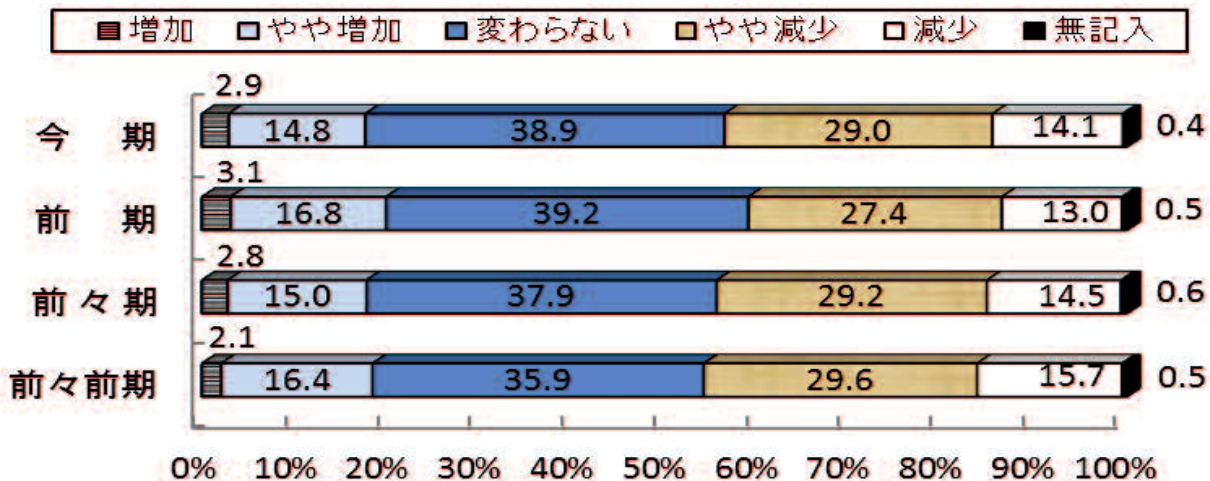
#### 4. 利益状況

全体では、「増加・やや増加」が17.7%（前期19.9%）、「やや減少・減少」が43.1%（前期40.4%）で、D I値は▲25.4（前期▲20.5）となり、4.9ポイント悪化した。

業種別のD I値では、全ての業種で悪化が見られ、製造業▲23.6、建設業▲15.1、卸売業▲35.9、小売業▲44.7、飲食業▲38.8、サービス業▲20.5、交通運輸業▲22.8、その他▲17.6となった。

地区別のD I値では、東紀州地区で改善が見られ、北勢地区▲23.7、中勢地区▲31.5、南勢地区▲18.3、伊賀地区▲20.8、東紀州地区▲41.3であった。

図-7 利益状況



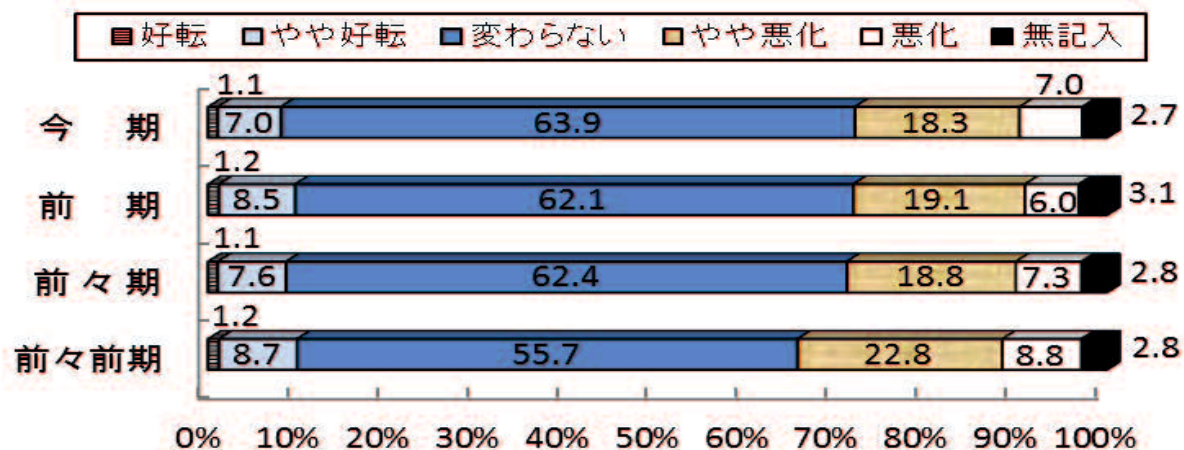
#### 5. 販売条件

全体では、「好転・やや好転」が8.1%（前期9.7%）、「やや悪化・悪化」が25.3%（前期25.1%）で、D I値は▲17.2（前期▲15.4）となり、1.8ポイント悪化した。

業種別のD I値では、交通運輸業で改善が見られ、製造業▲14.8、建設業▲12.3、卸売業▲18.8、小売業▲31.5、飲食業▲27.2、サービス業▲12.6、交通運輸業▲13.7、その他▲13.7となった。

地区別のD I値では、北勢地区、中勢地区で悪化が見られ、北勢地区▲16.8、中勢地区▲20.7、南勢地区▲12.9、伊賀地区▲9.0、東紀州地区▲29.6であった。

図-8 販売条件



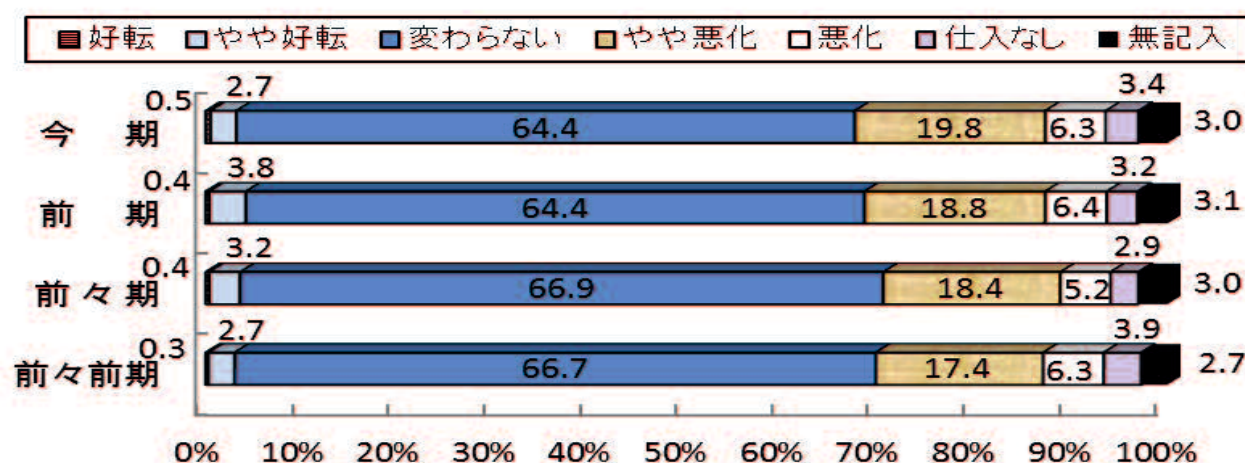
## 6. 仕入条件

全体では、「好転・やや好転」が3.2%（前期4.2%）、「やや悪化・悪化」が26.1%（前期25.2%）で、D I値は▲22.9（前期▲21.0）となり、1.9ポイント悪化した。

業種別のD I値では、飲食業、サービス業、交通運輸業で改善が見られ、製造業▲27.7、建設業▲16.0、卸売業▲29.6、小売業▲31.5、飲食業▲41.3、サービス業▲12.9、交通運輸業▲22.7、その他▲15.0となった。

地区別のD I値では、中勢地区、南勢地区で改善が見られ、北勢地区▲23.3、中勢地区▲22.6、南勢地区▲19.1、伊賀地区▲19.2、東紀州地区▲33.6であった。

図-9 仕入条件



## 7. 設備投資

全体では、設備投資を行った企業は408社、15.9%（前期472社）、設備投資を予定している企業は354社、13.8%（前期386社）であった。

業種別では、交通運輸業が29.5%と、それ以外の業種よりも設備投資を行った割合が高いという結果となった。設備投資の予定についても、交通運輸業が20.5%と最も高い割合であった。

地区別では、北勢地区が実績16.9%と最も高く、設備投資の予定については中勢地区が15.0%と最も高い割合であった。

図-10 設備投資の実績

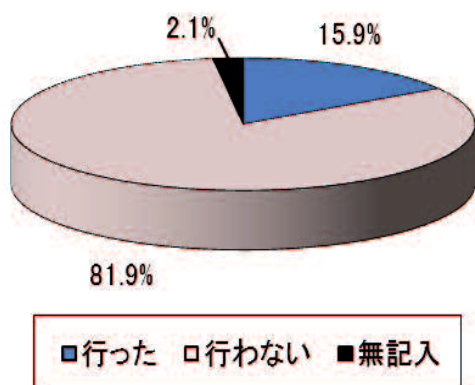
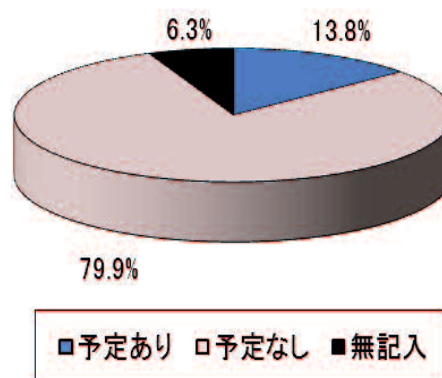


図-11 設備投資の予定



## 8. 資金繰り状況と今後の見通し

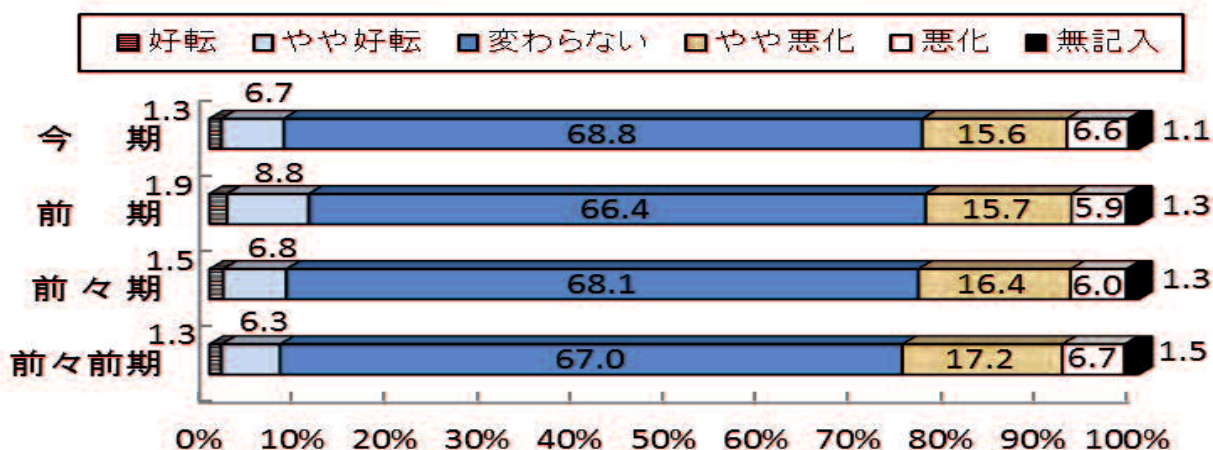
### a) 現状

全体では「好転・やや好転」が8.0%（前期10.7%）、「悪化・やや悪化」は22.2%（前期21.6%）で、D I値は▲14.2（前期▲10.9）となり、3.3ポイント悪化した。

業種別D I値では、飲食業で改善が見られ、製造業▲14.0、建設業▲6.1、卸売業▲17.0、小売業▲27.4、飲食業▲27.3、サービス業▲10.1、交通運輸業▲20.4、その他▲8.7となった。

地区別D I値では、伊賀地区で改善が見られ、北勢地区▲12.9、中勢地区▲17.3、南勢地区▲12.8、伊賀地区▲5.3、東紀州地区▲26.6であった。

図-12 資金繰りの現状



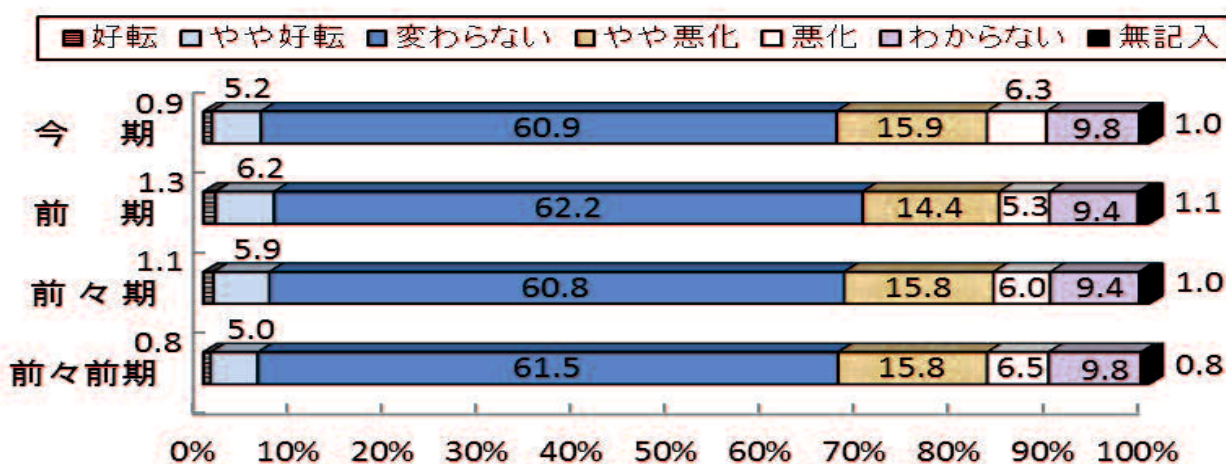
### b) 見通し

全体では「好転・やや好転」が6.1%（前期7.5%）、「悪化・やや悪化」は22.2%（前期19.7%）でD I値は▲16.1（現状D I値▲14.2）となり、1.9ポイント悪化の見通しとなった。

業種別D I値では、小売業、サービス業、交通運輸業で改善の見通しとなり、製造業▲15.4、建設業▲11.1、卸売業▲19.5、小売業▲26.4、飲食業▲28.4、サービス業▲9.2、交通運輸業▲16.0、その他▲16.3となった。

地区別D I値では、南勢地区、東紀州地区で改善の見通しとなり、北勢地区▲15.6、中勢地区▲18.1、南勢地区▲11.4、伊賀地区▲15.4、東紀州地区▲24.4であった。

図-13 資金繰りの見通し



## 9. 借入状況

### a) 現状

回答企業 2,559 社のうち、借入を実施した企業は、1,084 社、42.4%（前期 1,120 社）であった。

### b) 借入の難易度

全体では、借入を実施した企業のうち、「容易」が 17.2%（前期 18.3%）、「困難」は 10.2%（前期 11.3%）で、D I 値は 7.0（前期 7.0）となり、横ばいとなった。

業種別 D I 値では、製造業、卸売業、飲食業、交通運輸業で悪化が見られ、製造業 7.5、建設業 14.7、卸売業 1.6、小売業 2.2、飲食業▲16.6、サービス業 4.9、交通運輸業▲8.7、その他 17.2 となった。

地区別 D I 値では、中勢地区、伊賀地区で改善が見られ、北勢地区 8.0、中勢地区 12.2、南勢地区▲2.4、伊賀地区 16.2、東紀州地区 0.0 となった。

図-14 借入の難易度

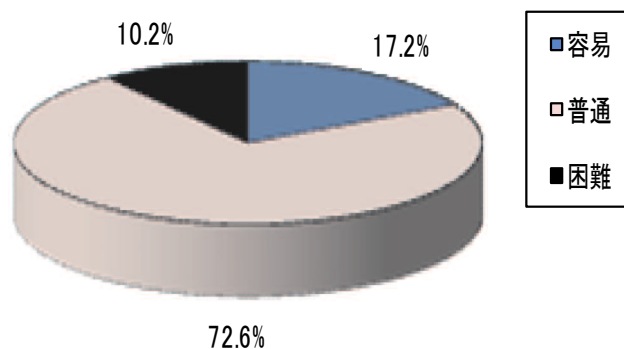
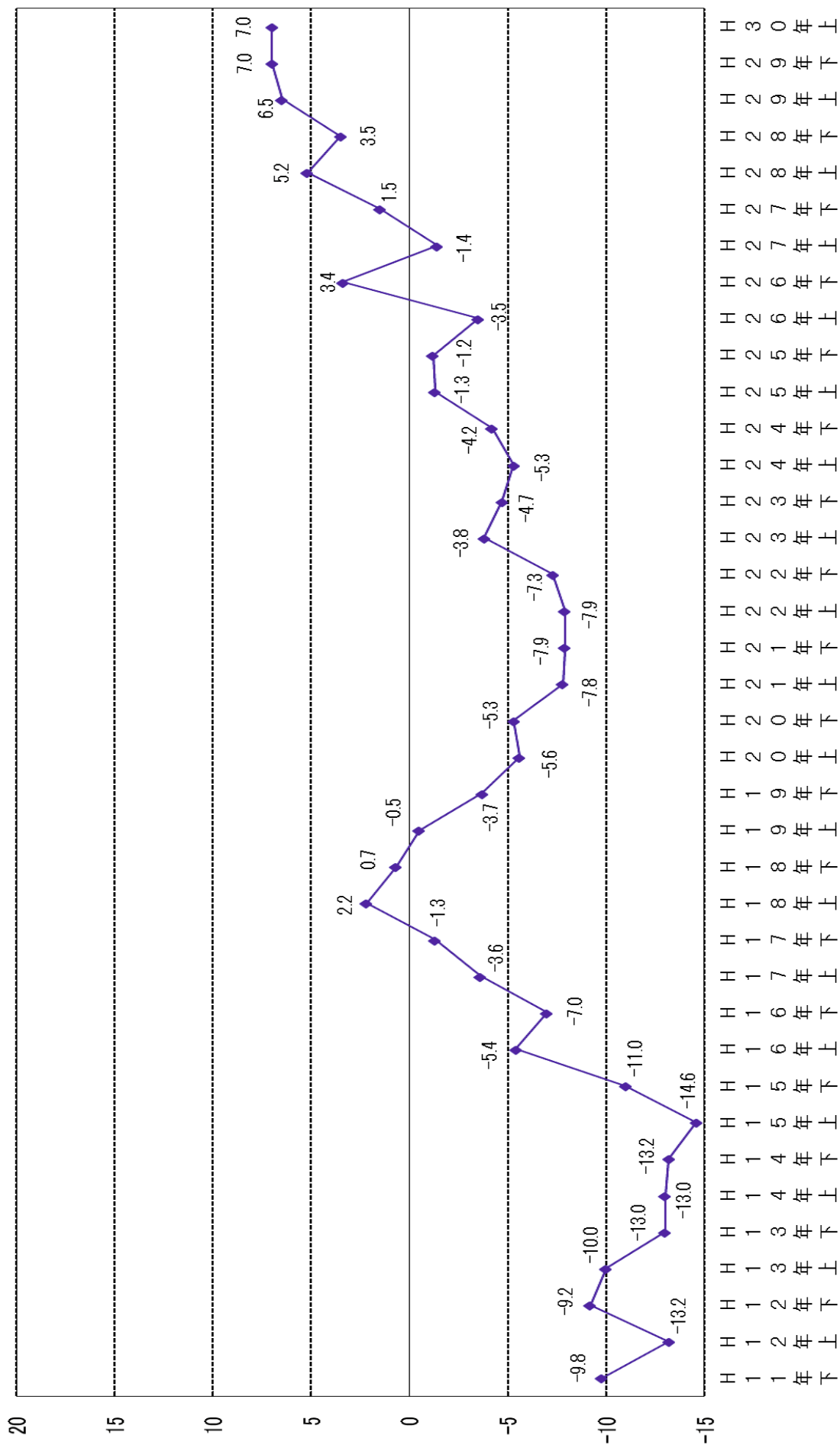


図-15 借入難易度DI値の推移





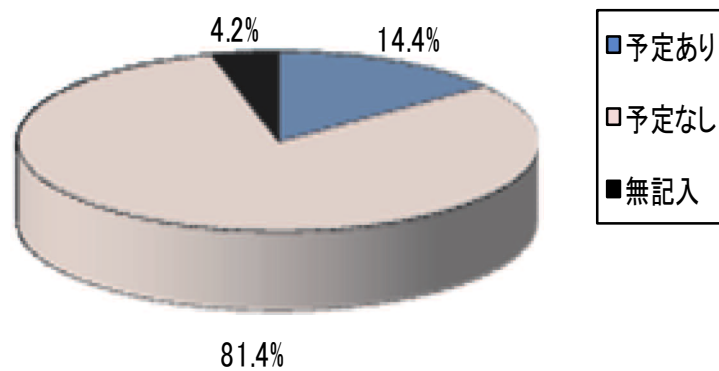
## 10. 借入予定

全体では、回答企業 2,559 社のうち、借入を予定している企業は 369 社、14.4%（前期 371 社）であった。

業種別で見ると、借入を予定しているのは交通運輸業が 25.0%と最も高く、飲食業が 9.3%と最も低かった。

地区別では、北勢地区が 15.8%と最も高く、伊賀地区 14.9%、東紀州地区 13.4%、中勢地区が 12.8%、南勢地区 12.2%となった。

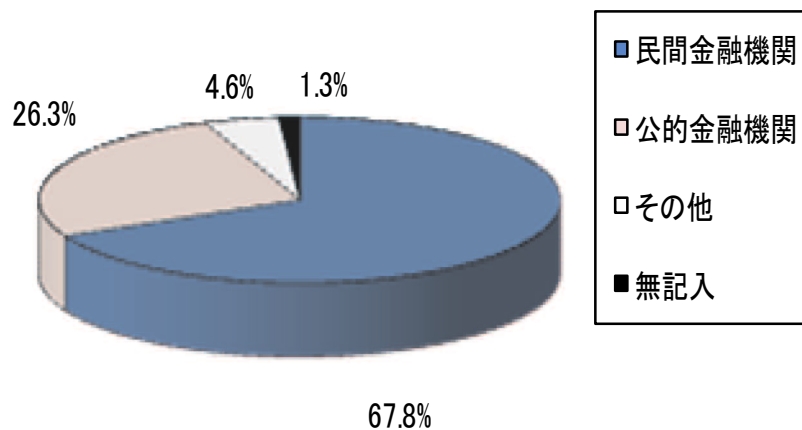
図-16 借入予定



## 11. 借入希望先

借入を予定している企業のうち、「民間金融機関」が 67.8%（前期 69.0%）、「公的金融機関」は 26.3%（前期 27.2%）となった。

図-17 借入希望先

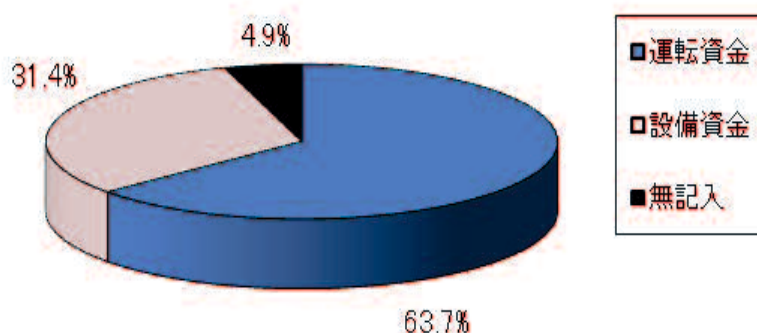


## 12. 借入金の使途予定

全体では、借入を予定している企業のうち、「運転資金」が63.7%（前期62.0%）に対し、「設備資金」は31.4%（前期35.6%）であった。

業種別では「運転資金」で卸売業が80.0%、「設備資金」でサービス業が44.4%と、それぞれ最も高かった。

図-18 借入金の使途予定



## 13. 経営上の問題点

全体では、「売上・受注の停滞減少」が最も多く43.9%（前期39.9%）、次いで「人手不足」が31.4%（前期32.5%）、「競争激化」が22.5%（前期21.2%）となった。

業種別では、製造業、卸売業、小売業、飲食業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が、建設業、交通運輸業、その他の業種で「人手不足」の回答が最も多かった。

また、「設備店舗の狭小老朽化」や「原材料高及び不足」、「人材育成」などの問題点も表面化している。

表－1 経営上の問題点(3項目以内複数回答)

区 分		第1位	第2位	第3位
業 種 別	製 造 業	売上・受注の停滞減少 (43.3)	人手不足 (28.7)	設備・店舗の狭小老朽化 (26.0)
	建 設 業	人手不足 (54.0)	売上・受注の停滞減少 (37.8)	人材育成 (31.4)
	卸 売 業	売上・受注の停滞減少 (61.6)	競争激化 (30.2)	人手不足 (17.6)
	小 売 業	売上・受注の停滞減少 (63.6)	競争激化 (33.3)	設備・店舗の狭小老朽化 (20.5)
	飲 食 業	売上・受注の停滞減少 (37.7)	原材料高及び不足 (33.3)	設備・店舗の狭小老朽化 (31.5)
	サービス業	売上・受注の停滞減少 (36.8)	競争激化 (25.5)	人手不足 (21.4)
	交通運輸業	人手不足 (47.7)	売上・受注の停滞減少 (31.8)	原材料高及び不足 (25.0)
	そ の 他	人手不足 (28.8)	売上・受注の停滞減少 (27.5)	人材育成 (22.5)
地 区 別	北 勢	売上・受注の停滞減少 (39.6)	人手不足 (35.3)	競争激化 (21.5)
	中 勢	売上・受注の停滞減少 (46.7)	人手不足 (28.7)	競争激化 (25.0)
	南 勢	売上・受注の停滞減少 (52.1)	人手不足 (32.4)	競争激化 (25.4)
	伊 賀	売上・受注の停滞減少 (39.9)	競争激化 (24.5)	人手不足 (23.4)
	東 紀 州	売上・受注の停滞減少 (54.7)	原材料高及び不足 (26.2)	設備店舗の狭小老朽化 (23.3)
総 合		売上・受注の停滞減少 (43.9)	人手不足 (31.4)	競争激化 (22.5)

## 県内商工会議所地区の景況

### ◎桑名商工会議所地区（調査対象 1,540 事業所 回答状況 336 事業所）

#### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.2%（前期 23.7%）、「やや悪い・悪い」が 38.4%（前期 35.4%）となった。D I 値は▲20.2（前期▲11.7）となり、前期調査時に比べ 8.5 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲12.3（前期▲9.4）・建設業が▲8.8（前期 0.0）・卸売業が▲47.9（前期▲6.5）・小売業が▲36.9（前期▲44.7）・飲食業が▲40.0（前期▲35.7）・サービス業が▲12.6（前期 4.6）・交通運輸業が▲60.0（前期 0.0）・その他の業種が▲14.3（前期▲20.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業では改善が見られたものの大幅なマイナス水準となった。また、その他の 7 業種もマイナス幅が拡大しており、特に卸売業で大幅な悪化となったほか、前期プラス水準であったサービス業についても悪化傾向を示している。

#### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.4%、「やや悪い・悪い」との回答は 36.6%、D I 値は▲23.2 となった。

現状の D I 値の▲20.2%と比較すると、3.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲14.2・建設業が▲11.8・卸売業が▲43.5・小売業が▲45.5・飲食業が▲46.7・サービス業が▲14.2・交通運輸業が▲60.0・その他の業種が▲14.3 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業が 4.4 ポイント改善を見通している。一方で製造業が 1.9 ポイント、建設業が 3.0 ポイント、小売業が 8.6 ポイント、飲食業が 6.7 ポイント、サービス業が 1.6 ポイントの悪化、交通運輸業、その他の業種が横ばいと見通す結果となった。

#### 目立った変化等

##### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、42.0%（前期 39.2%）、「人手不足」が 27.7%（前期 29.5%）、「競争激化」が 22.3%（前期 19.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業、サービス業、その他の業種で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業で「人手不足」が最も多く、交通運輸業では「人手不足」と「競争激化」が最も多かった。小売業においては「競争激化」の割合が大幅に増加しており、「競争激化」の課題が表面化している状況が窺える。

##### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 43 社 12.8%（前期 15.5%）であった。前期と比較して 2.7 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 14.3%（前期 14.6%）、建設業が 19.1%（前期 11.1%）、卸売業が 0.0%（前期 19.4%）、小売業が 5.3%（前期 8.9%）、飲食業が 20.0%（前期 21.4%）、サービス業が 12.7%（前期 22.7%）、

交通運輸業が 0.0%（前期 33.3%）、その他の業種が 28.6%（前期 10.0%）となった。

前期と比較し、その他の業種が 18.6 ポイントと最も増加幅が大きく、交通運輸業は、▲33.3 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## ◎四日市商工会議所地区（調査対象 2,362 事業所 回答状況 578 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.5%（前期 22.6%）、「やや悪い・悪い」が 38.8%（前期 36.5%）となった。D I 値は▲19.3（前期▲13.9）となり、前期調査時に比べ 5.4 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲16.8（前期▲20.9）・建設業が▲5.8（前期 0.5）・卸売業が▲45.9（前期▲26.2）・小売業が▲51.8（前期▲36.8）・飲食業が▲64.0（前期▲57.1）・サービス業が▲16.9（前期▲12.4）・交通運輸業が 33.3（前期▲50.0）・その他の業種が 4.1（前期 16.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して製造業・交通運輸業で改善が見られた。一方で、建設業・卸売業・小売業・飲食業・サービス業・その他の業種が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 12.8%、「やや悪い・悪い」との回答は 35.1%、D I 値は▲22.3 となった。

現状の D I 値（▲19.3）と比較すると、3.0 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.6・建設業が▲19.3・卸売業が▲35.1・小売業が▲51.8・飲食業が▲52.0・サービス業が▲7.1・交通運輸業が 33.3・その他の業種が▲4.2 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると卸売業が 10.8 ポイント、飲食業は 12.0 ポイント、サービス業は 9.8 ポイント改善する見通しである。小売業・交通運輸業については変化が見られなかった。一方で、製造業が 3.8 ポイント、建設業が 13.5 ポイント、その他の業種が 8.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 38.2%（前期 36.3%）、「人手不足」が 35.5%（前期 36.0%）、「人材育成」が 22.5%（前期 22.0%）と上位を占めた。

業種別では、製造業が前期 5 位「原材料高及び不足」16.5%から今期 2 位の 32.7%、サービス業では前期 5 位「人手不足」15.9%から今期 2 位の 27.7%に変動した。建設業に関しては、前期に引き続き「人手不足」57.5%（前期 55.6%）が今期 1 位であり、従業員の高齢化、若い人材不足、従業員募集をしても集まらない等の回答があり人手不足が深刻化している。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 105 社 18.2%（前期 21.7%）であった。前期と比較して 3.5 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 14.0%(前期 17.4%)、建設業が 20.3%(前期 23.9%)、卸売業が 13.5%(前期 7.1%)、小売業が 12.1%(前期 14.7%)、飲食業が 24.0%(前期 28.6%)、サービス業が 18.8%(前期 26.5%)、交通運輸業が 33.3%(前期 0.0%)、その他の業種では 25.0%(前期 40.0%) となり、前期と比較し、交通運輸業が、33.3 ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種は、15.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では建設業が 42 社と最も多かった。

## ◎鈴鹿商工会議所地域（調査対象 934 事業所 回答状況 297 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 19.9%(前期 26.7%)、「やや悪い・悪い」が 34.1%(前期 31.2%) となった。D I 値は▲14.2(前期▲4.5) となり、前期調査時に比べ 9.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲14.9(前期▲1.5)・建設業が▲6.2(前期 13.3)・卸売業が▲33.4(前期▲57.1)・小売業が▲38.3(前期▲43.2)・飲食業が▲18.8(前期▲35.8)・サービス業が▲8.1(前期 0.0) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して卸売業、小売業、飲食業で改善が見られた。特に、卸売業については、マイナス幅の縮小がみられ改善が見られた。一方、製造業、建設業、サービス業は悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 13.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 36.7%、D I 値は▲23.6 となった。

現状の D I 値(▲14.2%)と比較すると、9.4 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.2・建設業が▲19.4・卸売業が▲25.0・小売業が▲52.9・飲食業が▲18.7・サービス業が▲21.6 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業が 8.4 ポイントの改善を見通すほか、飲食業は現在の水準で推移する見通しである。一方で製造業が 5.3 ポイント、建設業が 13.2 ポイント、小売業が 14.6 ポイント、サービス業が 13.5 ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「人手不足」が 44.4%(前期 40.8%)と最も多く、「売上・受注の停滞減少」が 39.4%(前期 37.3%)、「人材育成」が 25.3%(前期 28.3%)と、上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業では「売上・受注の停滞減少」が最も多く、建設業、飲食業では「人手不足」が多い結果となった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 55 社 18.5%(前期 22.2%)であった。前期と比較して 3.7 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 18.9%(前期 22.2%)、建設業が 18.6%(前期 24.0%)、卸売業が 16.7%(前期 0.0%)、

小売業が 8.8% (前期 18.2%)、飲食業が 25.0% (前期 7.1%)、サービス業が 18.9% (前期 24.3%) となり、前期と比較すると、飲食業が 17.9 ポイントと最も増加幅が大きい結果となった。

## ◎亀山商工会議所地区（調査対象 556 事業所 回答状況 94 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 25.5% (前期 26.6%)、「やや悪い・悪い」が 38.3% (前期 30.4%) となった。D I 値は▲12.8 (前期▲3.8) となり、前期調査時に比べ 9.0 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲17.2 (前期▲6.6)・建設業が 0.0 (前期 12.5)・卸売業が▲25.0 (前期 0.0)・小売業が▲29.4 (前期▲33.3)・飲食業が 20.0 (前期 0.0)・サービス業が▲20.0 (前期▲14.2)・交通運輸業が▲50.0 (前期 0.0)・その他の業種が 66.7 (前期 66.7) となった。

業種別では前期 D I 値と比較して小売業及び飲食業については改善が見られたが、その他の業種については横ばい、それ以外の業種について悪化という結果となった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 19.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 34.1%、D I 値は▲15.0 となった。

現状の D I 値 (▲12.8) と比較すると 2.2 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲13.8・建設業が 5.6・卸売業が▲25.0・小売業が▲29.3・飲食業が 0.0・サービス業が▲20.0・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 3.4 ポイント、建設業が 5.6 ポイントの改善を見通すほか、卸売業及びサービス業が 0.0 ポイント、小売業が 0.1 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で飲食業が▲20.0 ポイント、交通運輸業が▲50.0 ポイント、その他の業種が▲66.7 ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、40.4% (前期 32.9%)、「人手不足」が 33.0% (前期 31.6%)、「人材育成」が 18.1% (前期 17.7%) と上位を占めた。

また、業種別では、製造業・小売業は「売上・受注の停滞減少」を、建設業・サービス業は「人手不足」・「人材育成」を、卸売業は「製品・商品単価の下落」・「代金回収の悪化」・「人件費の増加」・「人材育成」を、飲食業では「人件費の増加」を、交通運輸業・その他の業種では「人手不足」を上位に挙げている結果となった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 18 社 19.1% (前期 25.3%) であった。前期と比較して製造業・建設業・サービス業・交通運輸業・その他の業種で減少し、全体として 6.2 ポイント減少した。

## ◎津商工会議所地区（調査対象 1,678 事業所 回答状況 187 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 13.9%（前期 28.2%）、「やや悪い・悪い」が 34.7%（前期 25.0%）となった。D I 値は▲20.8（前期 3.2）となり、前期調査時に比べ 24.0 ポイントの悪化と、大きく悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲24.3（前期▲9.7）・建設業が▲20.3（前期 8.6）・卸売業が▲16.8（前期 15.4）・小売業が▲52.2（前期▲11.1）・飲食業が 33.3（前期 28.6）・サービス業が 0.0（前期 9.1）・交通運輸業が▲33.4（前期▲25.0）・その他の業種が▲25.0（前期 9.1）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して飲食業を除く全ての業種で悪化が見られ、特に建設業、卸売業、小売業、その他の業種では、D I 値が大幅なマイナスとなった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 16.1%、「やや悪い・悪い」との回答は 27.8%、D I 値は▲11.7 となった。

現状の D I 値▲20.8 と比較すると、9.1 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲16.2 ・建設業が▲15.2 ・卸売業が▲25.0 ・小売業が▲17.4 ・飲食業が 33.3 ・サービス業が 5.7 ・交通運輸業が▲16.7 ・その他の業種が▲16.7 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業、建設業、小売業、サービス業、交通運輸業、その他業種で改善となった一方で、卸売業が 8.2 ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について今期は「売上・受注の停滞減少」41.2%（前期 39.1%）が最も多く、前期と比較し 2.1 ポイント増加となった。第 2 位は「人手不足」31.6%（前期 40.2%）と前期と 1 位、2 位の順位が入れ替わった。次いで、「競争激化」26.7%（前期 26.6%）、「人材育成」18.7%（前期 20.1%）、「設備・店舗の狭小老朽化」15.0%（前期 15.2%）が上位を占めた。

また、業種別では、製造業、卸売業、小売業は「売上・受注の停滞減少」、建設業は「人手不足」、サービス業は「売上・受注の停滞減少」と「競争激化」、が第 1 位の項目になっている。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 34 社 18.2%（前期 20.7%）であった。前期と比較し 2.5 ポイントの減少となった。業種別では、サービス業が 12 社、建設業が 11 社と多かった。



## ◎松阪商工会議所地区（調査対象 819 事業所 回答状況 321 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 14.3%（前期 19.6%）、「やや悪い・悪い」が 46.4%（前期 42.0%）となった。D I 値は▲32.1（前期▲22.4）となり、前期調査時に比べ 9.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲34.3（前期▲19.5）・建設業が▲5.0（前期▲20.0）・卸売業が▲36.9（前期▲27.8）・小売業が▲55.1（前期▲39.7）・飲食業が▲57.2（前期▲53.3）・サービス業が▲28.6（前期▲21.9）・交通運輸業が▲6.2（前期 30.0）・その他の業種が▲16.6（前期 50.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、建設業を除く全ての業種で悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 11.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 36.5%、D I 値は▲24.9 となった。

現状の D I 値（▲32.1%）と比較すると、7.2 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.9・建設業が▲10.0・卸売業が▲15.9・小売業が▲44.9・飲食業が▲38.1・サービス業が▲19.1・交通運輸業が▲18.8・その他の業種が▲50.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業が 13.4 ポイント、卸売業が 21.0 ポイント、小売業が 10.2 ポイント、飲食業が 19.1 ポイント、サービス業が 9.5 ポイントの改善を見通している。一方で、建設業が 5.0 ポイント、交通運輸業が 12.6 ポイント、その他の業種が 33.4 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く 49.8%（前期 41.4%）、「人手不足」が 27.1%（前期 30.5%）、「競争激化」が 24.0%（前期 22.5%）と上位を占めた。

また、業種別では製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、飲食業は「設備店舗の狭小老朽化」、交通運輸業は前期同様「人手不足」が最も多かった。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 41 社 12.8%（前期 14.6%）であった。前期と比較して 1.8 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 11.9%（前期 11.3%）、建設業が 15.0%（前期 20.0%）、卸売業が 5.3%（前期 11.1%）、小売業が 8.7%（前期 7.4%）、飲食業が 4.8%（前期 6.7%）、サービス業が 14.3%（前期 16.4%）、交通運輸業が 37.5%（前期 35.0%）、その他の業種が 16.7%（前期 25.0%）となった。

前期と比較し、交通運輸業が 2.5 ポイントと最も増加幅が大きく、その他の業種は 8.3 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。

## ◎伊勢商工会議所地区（調査対象 600 事業所 回答状況 299 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 20.4%（前期 26.9%）、「やや悪い・悪い」が 29.4%（前期 30.2%）となった。D I 値は▲9.0（前期▲3.3）となり、前期調査時に比べ 5.7 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が 2.1（前期 4.0）・建設業が 0.0（前期 24.3）・卸売業が▲25.0（前期▲17.4）・小売業が▲32.7（前期▲25.0）・飲食業が▲16.0（前期▲10.8）・サービス業が▲1.8（前期 5.9）・交通運輸業が▲33.3（前期▲50.0）・その他の業種が 75.0（前期▲100.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して交通運輸業とその他の業種を除くすべての業種が悪化という結果となった。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 16.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 24.1%、D I 値は▲8.1 となった。

現状の D I 値（▲9.0%）と比較すると、0.9 ポイント業況の改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が 0.0、建設業が 1.3、卸売業が▲33.3、小売業が▲23.9、飲食業が▲18.3、サービス業が 3.6、交通運輸業が▲33.3、その他の業種が 50.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、製造業で 2.1 ポイント、サービス業で 5.4 ポイント改善を見通し、建設業で▲1.3 ポイント、卸売業で▲8.3 ポイント、小売業で▲8.8 ポイント、飲食業で▲2.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」最も多く、50.8%（前期 43.3%）、「人手不足」が 35.8%（前期 29.4%）、「競争激化」が 28.4%（前期 25.3%）と上位を占めた。

また、業種別では、卸売業、小売業、サービス業、交通運輸業で「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業、建設業、「人手不足」、飲食業で「競争激化」と上位を占めた。

全体的に次いで見ると「人手不足」「人材育成」をあげる業種が多く、人材に関する課題が表面化している状況が窺える。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 41 社 13.7%（前期 20.0%）であった。前期と比較して 6.3 ポイント減少した。業種別では、製造業が 10 社と最も多かった。

## ◎鳥羽商工会議所地区（調査対象 250 事業所 回答状況 87 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1 月～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 12.6%（前期 17.2%）、「やや悪い・悪い」が 58.6%（前期 44.4%）となった。D I 値は▲46.0（前期▲27.2）となり前期調査時と比べ、18.8 ポイントの悪化となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲14.3（前期 17.4）・建設業が▲8.3（前期▲12.5）・卸売業が▲25.0（前期▲16.6）・小売業が▲65.3（前期▲57.9）・飲食業が▲90.0（前期▲61.6）・サービス業が▲57.1（前期▲49.9）・交通運輸業が 0.0（前期 100.0）・その他の業種が 100.0（前期 0.0）となっている。

業種別では前回 D I 値と比較して、建設業を除くすべての業種が悪化している。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 8.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 44.8%、D I 値は▲36.3 となった。

現状の D I 値（▲46.0）と比較すると、9.2 ポイント改善の見通しとなっている。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲14.3・建設業が▲33.4・卸売業が▲50.0・小売業が▲43.5・飲食業が▲50.0・サービス業が▲38.0・交通運輸業が▲100.0・その他の業種が 100.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業が悪化し、小売業、飲食業、サービス業が改善する見通しとなった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、前回と変わらず「売上・受注の停滞減少」が最も多く 56.3%（前期 40.4%）を占めた。次いで「設備店舗の狭小老朽化」が 31.0%（前期 30.3%）、「人手不足」が 20.7%（前期 34.3%）、と上位を占めた。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 18 社 20.7%（前期 25.3%）であった。前期と比較して 4.6 ポイント減少した。業種別では、製造業が 0.0%（前期 30.4%）、建設業が 25.0%（前期 25.0%）、卸売業が 25.0%（前期 16.7%）、小売業が 13.0%（前期 5.3%）、飲食業が 40.0%（前期 30.8%）、サービス業が 23.8%（前期 38.9%）、交通運輸業が 100.0%（前期 100.0%）、その他業種が 0.0%（前期 0.0%）となった。

## ◎上野商工会議所地区（調査対象 278 事業所 回答状況 86 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 17.4%（前期 18.3%）、「やや悪い・悪い」が 32.5%（前期 38.0%）となった。D I 値は▲15.1（前期▲19.7）となり、前期調査時に比べ 4.6 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲13.3（前期 11.8）・建設業が 15.4（前期 18.2）・卸売業が▲33.3（前期▲42.8）・小売業が▲26.3（前期▲47.0）・飲食業が▲57.1（前期▲42.8）・サービス業が▲15.4（前期▲36.4）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して、卸売業・小売業・サービス業で改善が見られた。一方で、製造業・建設業・飲食業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 14.0%、「やや悪い・悪い」との回答は 32.5%、D I 値は▲18.5 となった。

現状の D I 値（▲15.1）と今後の見通し D I 値（▲18.5）とを比較すると、3.4 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲20.0・建設業が▲0.0・卸売業が▲33.3・小売業が▲21.0・飲食業が▲57.2・サービス業が▲15.4 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、小売業が 5.9 ポイント改善を見通すほか、卸売業とサービス業が 0.0 ポイント、飲食業が▲0.1 ポイントと現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業は 6.7 ポイント、建設業は 15.4 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く 39.5%（前期 40.8%）、「人件費以外の経費の増加」が 22.1%（前期 14.1%）、「人出不足」が 20.9%（前期 21.1%）と上位を占めた。

また、業種別では、建設業を除くすべての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多い。建設業では「人材不足」が最も多く、全体的に見ても人材確保に関する課題が表面化している状況が窺える。

#### 【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 13 社 15.1%（前期 18.3%）であった。前期と比較して 3.2 ポイント減少した。

業種別では、製造業が 10.0%（前期 5.6%）、建設業が 15.4%（前期 27.3%）、卸売業が 0.0%（前期 14.3%）、小売業が 26.3%（前期 29.4%）、飲食業が 14.3%（前期 28.6%）、サービス業が 7.7%（前期 9.1%）となった。業種別では、小売業が 5 社と最も多かった。

## ◎名張商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 102 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1 月～6 日の業況は、「良い・やや良い」が 33.3%（前期 23.7%）、「やや悪い・悪い」が 29.4%（前期 28.8%）となった。D I 値は 3.9（前期▲5.1）となり、前期調査時に比べ 9.0 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲8.4（前期 14.3）・建設業が 30.0（前期 15.4）・卸売業が▲20.0（前期 33.3）・小売業が▲15.4（前期▲50.0）・飲食業が 0、サービス業が 0（前期▲25.0）・その他の業種が 22.2（前期 0）となった。

業種別の前期 D I 値との比較では、建設業・小売業・サービス業の業種で改善が見られたが、製造業・卸売業については悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 20.5%、「やや悪い・悪い」との回答は 37.3%、D I 値は▲16.8 となった。

現状の D I 値（3.9）と比較すると、20.7 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲24.9・建設業が▲10.0・卸売業が▲20.0・小売業が▲53.8・飲食業が▲20.0・サービス業が▲7.4・その他の業種が▲11.1 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、卸売業が現在の水準でほぼ横ばいとなる一方で、製造業が 16.5 ポイント、建設業が 40.0 ポイント、小売業が 38.4 ポイント、飲食業が 20.0 ポイント、サービス業が 7.4 ポイント、その他業種が 33.3 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について、「売上・受注の停滞減少」が最も多く、40.2%（前期 37.3%）、「競争激化」が 28.4%（前期 20.3%）、「人手不足」が 25.5%（前期 25.4%）と上位を占めた。4 位の「原材料高及び不足」が 17.6%（前期 10.2%）となり最も増加幅が大きい結果となった。

また、業種別では、製造業では前期 3 位の「原材料高及び不足」が 28.6%から今期 1 位の 58.3%となり、製造業とその他業種以外の業種では「売上・受注の停滞減少」が 1 位となった。

#### 【設備投資】

設備投資について、設備投資を実施した企業は 12 社 11.8%（前期 11.9%）であった。前期と比較して 0.1 ポイント減少した。業種別では小売業が 4 社と最も多かった。

業種別では、製造業が 8.3%（前期 28.6%）、建設業が 5.0%（前期 7.7%）、卸売業 10.0%（前期 33.3%）、小売業が 30.8%（前期 12.5%）、飲食業が 40.0%、サービス業が 7.4%（前期 0.0%）、その他の業種では 0.0%（前期 0.0%）となった。

## ◎尾鷲商工会議所地区（調査対象 144 事業所 回答状況 140 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 9.3%（前期 11.6%）、「やや悪い・悪い」が 52.9%（前期 48.6%）となった。D I 値は▲43.6（前期▲37.0）となり、前期調査時に比べ 6.6 ポイント悪化する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が▲50.0（前期▲25.8）・建設業が▲29.2（前期▲17.4）・卸売業が▲33.3（前期▲62.5）・小売業が▲49.9（前期▲64.7）・飲食業が▲36.4（前期▲40.0）・サービス業が▲33.3（前期▲42.8）・交通運輸業が▲100.0（前期▲16.7）・その他の業種が 60.0（前期 40.0）となった。

業種別では前期 D I 値と比較して卸売業・小売業・飲食業・サービス業・でマイナス値ではあるが改善が見られた。一方で、製造業・建設業・交通運輸業・その他の業種においては悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 7.8%、「やや悪い・悪い」との回答は 44.2%、D I 値は▲36.4 となった。

現状の D I 値（▲43.6）と比較すると、7.2 ポイント改善を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲33.3・建設業が▲33.3・卸売業が▲44.4・小売業が▲42.9・飲食業が▲36.4・サービス業が▲33.3・交通運輸業が▲75.0・その他の業種が 20.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、その他の業種が 40.0 ポイント改善を見通すほか、交通運輸業が 25.0 ポイント、製造業が 16.7 ポイント、小売業が 7.0 ポイントの改善を見通し、飲食業・サービス業は横ばい、一方で卸売業は、11.1 ポイント、建設業で 4.1 ポイント悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題については「売上・受注の停滞減少」が最も多く、56.4%（前期 55.8%）、「原材料高及び不足」が 25.0%（前期 15.2%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 22.9%（前期 22.5%）、「人件費以外の経費増加」が 14.3%（前期 12.3%）と上位を占めたが、業種別では、製造業が、前期 2 位「設備店舗の狭小老朽化」32.4%から今期 2 位「原材料高及び不足」30.6%に変動しており、運輸交通業においても「原材料高及び不足」が今期 1 位 100.0%（前期 2 位 50.0%）となっていることから「原材料高及び不足」の課題が表面化している状況が窺える。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 21 社 15.0%（前期 22 社 15.9%）であった。前期と比較して 0.9 ポイント減少した。

業種別では、製造業 16.7%（前期 16.1%）、建設業 4.2%（前期 8.7%）、卸売業 22.2%（前期 12.5%）、小売業 10.7%（前期 11.8%）、飲食業 0.0%（前期 10.0%）、サービス業 23.8%（前期 19.0%）、交通運輸業 25.0%（前期 33.3%）、その他の業種 60.0%（前期 60.0%）となり、前期と比較し、卸売業が 9.7 ポイントと最も増加幅が大きく、飲食業は 10.0 ポイントと最も減少幅が大きい結果となった。業種別では、製造業が 6 社と最も多かった。

## ◎熊野商工会議所地区（調査対象 200 事業所 回答状況 32 事業所）

### 現 状

平成 30 年 1～6 月の業況は、「良い・やや良い」が 18.8%（前期 22.4%）、「やや悪い・悪い」が 37.5%（前期 49.0%）となった。D I 値は▲18.7（前期▲26.6）となり、前期調査時に比べ 7.9 ポイント改善する結果となった。

業種別の D I 値を見ると、製造業が 0.0（前期 0.0）・建設業が▲100.0（前期▲42.9）・卸売業が▲100.0（前期 0.0）・小売業が▲33.3（前期▲50.0）・サービス業が 20.0（前期 0.0）・その他の業種が 0.0（前期 0.0）となった。

業種別では現状の前期 D I と比較して小売業とサービス業で改善が見られた。一方で、建設業と卸売業が悪化した。

### 見 通 し

今後の見通しについては、「良い・やや良い」との回答が 15.6%、「やや悪い・悪い」との回答は 46.9%、D I 値は▲31.3 となった。

現状の D I 値（▲18.7）と比較すると、12.6 ポイント業況の悪化を見通している。

業種別の D I 値を見ると製造業が▲25.0・建設業が▲100.0・卸売業が▲100.0・小売業が▲55.6・サービス業が 20.0・その他の業種が 0.0 となった。

業種別に現状の D I 値と比較すると、建設業、卸売業、サービス業、その他の業種が現在の水準で推移する見通しである。一方で、製造業が 25.0 ポイント、小売業が 22.3 ポイントの悪化を見通す結果となった。

### 目立った変化等

#### 【経営課題】

経営上困っている問題について「売上・受注の停滞減少」が最も多く、46.9%（前期 49.0%）、「原材料高及び不足」が 31.3%（前期 10.2%）、「人手不足」が 25.0%（前期 26.5%）、「設備店舗の狭小老朽化」が 25.0%（前期 28.6%）と上位を占めた。

また、ほぼすべての業種において「売上・受注の停滞減少」が最も多く、製造業では加えて「人手不足」、「原材料高及び不足」もそれぞれ同数で最も多く挙がっている。製造業を除く業種では「売上・受注の停滞減少」の次に「人件費以外の経費増加」が多く挙がっていることから、全体的に見て経費の増加に関する課題が表面化してきている。

#### 【設備投資】

設備投資について設備投資を実施した企業は 7 社 21.9%（前期 6.1%）であった。前期と比較して 15.8 ポイント増加した。

# 景況調査票

平成30年7月

※各設問に対して該当するものに○をして下さい。

## I. 企業の概要

### 1. 業種 (主たるもの1つ)

〈製造業〉	1.食料品	2.繊維品	3.機械製品	4.金属製品	5.木材木製品
	6.化学製品	7.土石窯業	8.印刷・出版	9.その他	
〈建設業〉	10.土木工事	11.建築工事	12.その他		
〈卸売業〉	13.食料品	14.繊維・身の回り品	15.その他		
〈小売業〉	16.繊維・身の回り品	17.食料品	18.家具・日用品	19.電気製品	20.その他
〈飲食業〉	21.飲食店				
〈サービス業〉	22.美容・理容	23.ホテル・旅館	24.自動車整備	25.不動産	26.その他
〈交通運輸業〉	27.交通運輸	〈その他〉	28.その他		

### 2. 常時使用従業員数(会社の役員・家族従業員・パートを除く)

1. 0 ~ 5人	2. 6 ~ 20人	3. 21 ~ 50人	4. 51 ~ 100人	5. 101人以上
-----------	------------	-------------	--------------	-----------

## II. 企業の経営状況について

### 3. 現状について…平成30年1～6月の業況は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	6. 悪い
------	---------	----------	---------	------	-------

理由: \_\_\_\_\_

### 4. 今後の見通しについて…平成30年7～12月の業況は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 良	2. やや良い	3. 変わらない	4. やや悪い	5. 悪	6. 悪い
------	---------	----------	---------	------	-------

理由: \_\_\_\_\_

### 5. 売上状況について…平成30年1～6月の売上は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

### 6. 売上の見通しについて…平成30年7～12月の売上は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

### 7. 利益状況について…平成30年1～6月の利益は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 増	2. やや増加	3. 変わらない	4. やや減少	5. 減	6. 減少
------	---------	----------	---------	------	-------

### 8. 販売条件(単価・決済方法)について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

### 9. 仕入条件(単価・決済方法)について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

### 10. 設備投資について

平成30年1～6月の実績			平成30年7～12月の予定		
1. 行った	2. 行わない		1. 予定あり	2. 予定なし	

### 11. 資金繰りの現状について…平成30年1～6月は前年同期に比べてどうでしたか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

### 12. 資金繰りの見通しについて…平成30年7～12月は前年同期に比べてどうなると思いますか。

1. 好	2. やや好転	3. 変わらない	4. やや悪化	5. 悪	6. 悪化
------	---------	----------	---------	------	-------

### 13. 借入の現状について…平成30年1～6月はどうでしたか。(借入された方のみ)

1. 容易	2. 普通	3. 困難
-------	-------	-------

### 14. 借入予定はどうか…(平成30年7～12月)

1. 予定している	2. 予定していない
-----------	------------

### 14-1. 借入先は、どこを希望されますか。(主たるもの一つ)

1. 民間金融機関	2. 公的金融機関	3. その他
-----------	-----------	--------

### 14-2. 資金用途は何を予定されていますか。(主たるもの一つ)

1. 運転資金	2. 設備資金
---------	---------

### 15. 現在経営上で、困っている問題点は何か。あれば3つ以内で選んでください。

1. 売上・受注の停滞減少	6. 設備・店舗の狭小老朽化	11. 競争激化
2. 製品・商品単価の下落	7. 売掛・債権回収の悪化	12. 人材育成
3. 人手不足	8. 人件費の増加	13. 立地条件の悪化
4. 過剰人員	9. 人件費以外の経費の増加	14. 法的規制等(緩和を含む)
5. 借入難	10. 原材料高及び不足	15. 税務・経理問題

### 16. その他困っている問題・御意見等があれば御記入ください。

( \_\_\_\_\_ )

御協力ありがとうございました。